

平成 24 事業年度における業務の実績に関する項目別評価調書 様式及び記載例 (案)

<p>中期計画の該当事項</p>	<p>第▲ ■</p>	
<p>■ 中期計画の記載事項</p>		
<p>.....</p>		
<p>■ 各事業年度又は中期目標の期間における小項目ごとの実施結果</p>		
<p>小項目</p>	<p>達成目標</p>	<p>達成目標に対する実施結果 (具体的数値があれば記入)</p>
<p>第▲ ■</p>	<p>.....</p>	<p>【第 3 四半期までの実施結果 (9 か月分)】</p> <p>.....</p> <p>【第 4 四半期の実施見込み (3 か月分)】</p> <p>.....</p> <p>【24 年度の実施結果及び実施見込み (1 年分)】</p> <p>.....</p>

(具体例)

● 人件費の削減

【第3四半期までの実施結果（9か月分）】

- ・ ○○の取組により、第3四半期までで○○千円となった。

【第4四半期の実施見込み（3か月分）】

- ・ 第4四半期においては△△の取組により、第4四半期の人件費は○○千円となる見込み。

【24年度の実施結果及び実施見込み（1年分）】

- ・ 人件費については、○○及び△△の取組により、○○千円となる見込みであり、平成23年度比○%の削減を達成。

● 随意契約の見直し

【第3四半期までの実施結果（9か月分）】

- ・ ○○の取組により、第3四半期までの随意契約件数は○○件、金額は○○千円となった。
- ・ 一般競争入札については、○○○により、△△△であった。

【第4四半期の実施見込み（3か月分）】

- ・ 第4四半期においても○○により、随意契約件数は○○件、金額は○○千円となる見込み。
- ・ 一般競争入札については、引き続き○○○により、△△△となる見込みである。
- ・ 契約監視委員会は25年○月に開催する予定であり、○○○○。

【24年度の実施結果及び実施見込み（1年分）】

- ・ 随意契約は○○件、○○千円となる見込み。平成20年度と比べて○○○○○、平成23年度と比べて○○○○だが、これは△△△△によるものである。
- ・ 一般競争入札については、引き続き○○○により、△△△となる見込みである。
- ・ 契約監視委員会は25年○月に開催する予定であり、○○○○。

		<p>● 特別給付金の支給</p> <p>【第3四半期までの実施結果（9か月分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○の取組により、24年○月までに支給事業を終了させた。法案立案時推計約67,000人に対し、24年12月末までで受付累計件数○○件、認定及び支給累計件数○○件（○○千円）となり、推計を大きく上回った。このうち、前回事業で認定を受けなかった者は○○人となっていることから、△△△△。 <p>【第4四半期の実施見込み（3か月分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4四半期は事業は終了している。 <p>【24年度の実施結果及び実施見込み（1年分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○の取組により、24年○月までに支給事業を終了させた。法案立案時推計約67,000人に対し、24年12月末までで受付累計件数○○件、認定及び支給累計件数○○件（○○千円）となり、推計を大きく上回った。このうち、前回事業で認定を受けなかった者は○○人となっていることから、△△△△。 <p>● 基金の解散に伴う取組</p> <p>【第3四半期までの実施結果（9か月分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基金の解散に向け、以下を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○ ・ ○○○○ ・ ○○○○ ・ ○○○○ ・ 第×回独法評価平和基金分科会において、第3四半期までの実績及び第4四半期の見込みについて、業務の実績及び自己評価を説明。また、財務諸表についても合わせて提出し、説明。さらに、第2期中期計画期間の評価に向けて、24年度第3四半期までの実績及び24年度第4四半期の見込みについて、業務の実績及び自己評価を説明。
--	--	---

		<p>【第4四半期の実施見込み（3か月分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇を行う見込み。また、△△△、△△△の取組を実施する見込み。 ・ 結果として、基金で可能な処理はすべて基金で行い、総務省への引継書は基金で作成し総務省へ説明することとすることから、総務省への円滑な引継が可能となるものとする。 <p>【24年度の実施結果及び実施見込み（1年分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基金の解散に向け、以下を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇〇〇 ・ 〇〇〇〇 ・ 〇〇〇〇 ・ 〇〇〇〇 ・ △△△△ ・ △△△△ ・ 結果として、基金で可能な処理はすべて基金で行い、総務省への引継書は基金で作成し総務省へ説明することとすることから、総務省への円滑な引継が可能となるものとする。 	
<p>当該業務に係る事業経費</p>	<p>【第3四半期まで】 〇〇 千円 【第4四半期見込】 〇〇 千円 【1年分】 〇〇 千円</p>	<p>当該事業に係る職員数</p>	<p>【第3四半期まで】 〇〇 名 【第4四半期の見込み】 〇〇 名</p>
<p>■ 当該項目の評価 (AA~D)</p>	<p>○</p>		
<p>■ 評価結果の説明</p> <p>【24年度の実施結果及び実施見込み（1年分）】</p> <p>.....</p> <p>「必要性」 「効率性」 「有効性」</p>			